

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 1日

事業所名 多機能型事業所デイサービスセンターはっこう

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		
	2 職員の配置数は適切である	3	2	エリア変更を行った	L字型のエリアからI字型のエリアに変更したことにより、死角を減らし現在の配置数でも掌握不足のリスクを解消した。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2		極力段差が少なくなるようマットを敷くなど工夫をしている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	3		事務分担を見直し、無駄がなくなるよう検討している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		年1回ホームページで公表するとともに、保護者へも結果を周知している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		外部評価は実施していないが、福祉サービス評価は実施している。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2		現在は、勤務に影響のない研修に限られているため、県外でのトレセミなどには参加しにくい。職員のスキルアップのためには出来る限り参加したいため、職員のやりくりについて工夫が必要。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3		当デイサービスでは使用していないが、必要に応じて、保護者から情報提供してもらっている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		朝会等で活動プログラム等の打ち合わせを行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		その日によって、活動内容は変えている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		休日や長期休暇においては、課題の数や内容を増やすなど、きめ細かに設定している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		集団活動の内容や実施の回数等検討していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		学休日の朝送迎で打ち合わせができない場合は、夕の送迎後に翌日の役割等について確認している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2		夕の送迎後に打ち合わせを行い情報共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	0			
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		必要に応じて、ケース担当も同席している。	
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1		学校への送迎時に、学担との情報共有を行っている。	
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5		該当しない。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3		利用開始前には、本人の情報について共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1		サービス担当者会議に参加し、情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		現在の所、勤務に影響のない研修に限られている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4		機会があれば、交流していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5		勤務の都合が付けば、参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3		面談や送迎時、連絡ノートにてアドバイスをを行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		面談や送迎時、連絡ノートにてアドバイスをを行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1		学園行事(夏祭り)には参加している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	4		保護者への周知も行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		研修会に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3		デイはここうでも身体拘束に関する承諾書を策定し、来年度から保護者に事前に十分に説明し、了解を得ていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		保護者から医師の診断書をもらいそれに基づき対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		ヒヤリハット事例集はないが、インシデント・アクシデントは専用のファイルに綴っている。